

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク(京都地区)
《地域づくり・防災》

理事長 牧 紀男

京都丹波・丹後ネットワークは「見過ごされてきた課題に向き合い、共に安心と未来を創造する」というミッションステートメント(私たちの使命)の下に、人と人が信頼でつながるネットワークを構築し、地域のすべての住民がそれぞれの能力に応じて地域のための様々な活動を支援し、誰もが暮らしやすいまちをつくることを役割として活動を続けています。

このコロナ禍で外国人や外国にルーツを持つ人々、ひとり親家庭の子どもたちの生活はますます厳しくなり、孤立するケースも増えてきています。そこで私たちはフードバンクを活用した支援に重点を置き、経済的支援の実施と共に見守り・傾聴を行い、そこから困りごとの相談や学習支援など、様々な支援につなげる活動を実施しています。また防災の分野ではダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)を意識した避難所設営や運営のための仕組み作りに取り組むと



ともに、地域の防災研修や防災アプリを使った講習会なども開催しております。

認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(近畿共通)
《災害救援・防災》

理事長 渥美 公秀

私たちは、阪神・淡路大震災時に兵庫県西宮市に誕生したNPOです。「想いをつなぎ、寄り添いながら、安心して暮らせる災害に強いまちづくり」をめざしています。活動内容は、災害支援活動を中心に、日頃は災害に備えるために、防災講座や防災イベントなどの防災啓発活動を企画運営しています。

2020年7月に発生した「令和2年7月豪雨災害」では、熊本県の球磨川流域で甚大な浸水被害が発生しました。コロナ禍において、ボランティアが思うように現地入りできない状況が続きましたが、離れていてもできる支援を模索し、救援物資による支援の他、水没した写真をお預かりして、地元西宮でボランティアの皆さんと写真洗浄会を開催する等の活動を行い、現在も活動を継続しています。

また、防災啓発の活動としては、感染拡大防止の観点から



オンラインでの防災セミナーを企画、実施しています。Withコロナを前提に、今後も可能な限り災害支援や防災啓発に取り組んで参りたいと考えています。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。